

2回目は、
「老後の余暇の予算化」について
考えてみましょう。

趣味を持つ

老後の生活では、

前回第1回目のお話ではありませんが、
健康を維持するために、

またご自身の夢を実現するためなどに
趣味を持った方が良いといわれています。

確かに、
私の前職である旅行会社に勤めていた時も、
お客さんのなかには、
退職後、年に何度か
体の動くうちは旅行に出かける。
と、よく旅行に申し込まれた方もみえました。

旅行に限らず、
趣味を持つことは、
生活に張り合いができて、
健康な生活を送るためにも
よいことだと思います。

趣味にはお金がかかる

趣味を持つことによって、
そのために、
お金がかかることは確かです。

例えば、
旅行に出かける場合、
その他に趣味を持てば、

出費額は様々でも、

現役時代より、
趣味にお金がかかることは確かです。

また、旅行が趣味になった場合、
現役中は仕事が忙しくて、
なかなか旅行に行けなかった方が、
退職後、時間的な制約がなくなり、

ご自身の時間を自由に使えることで、

より旅行に行く魅力の虜になり、

ご自身で、テーマを決めて
旅行に出かけることは、
よく聞くことです。

国内旅行でも
四国八十八箇所霊場を巡られてあと、
その魅力に取りつかれて、
西国、坂東など国内様々な霊場
お参りをされる方もみえます。

海外旅行でも、
同様にご自身でテーマを決めて、
その目的地を訪れたりもされているようです。

ただし、現役の時代より
収入が減るのに、
趣味の費用が必要となり、
新しい家計の支出が増える、
ジレンマを伴うことは確かです。

趣味の費用の予算化

退職の生活は退職後に決めるといっても、

退職後、
特に趣味もなく毎日を過ごしていると、

出かけることも億劫になり、
心の病を迎え入れてしまう方もいるようです。

そのようにならない為にも、
趣味、生きがいを持つことは大切です。

そのための費用はどのくらいかかるのか？

今回は、旅行を例にお話をしていますが、

現役の間に、
旅行にどこに行きたいのか、
また、捻出できる金額から、
逆算して、
おおよその行先を決めておいてもよいでしょう。

つまり、趣味の費用は
現役の間に、予算化しておくことが大切です。

定期的を使う

そして、予算化したお金は、
その趣味に定期的を使う。

つまり、定期的に旅行に行くことです。

ただ、旅行より
ご自身に合った趣味が見つければ、
その予算と生きがいを
そちらにシフトするのもよいでしょう。

また、あまり良いご提案ではありませんが、

もし、病気や介護の状態になったら、
そちらに、この予算を使うことにもなるでしょう。

老後は、どんな趣味で
生活に潤いを、
また現役以上に忙しくなるのか。

そんな想像をしながら
予算化するのも楽しいですね！

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

趣味の予算化は、

老後の生活の生きがいを創る

大切な業務です

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター

・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

なぜ、「人生の添乗員（R）」なのか？

詳しいプロフィールはこちらから

http://www.makino-fp.com/documents/fpmakino_009.pdf

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*::~

老後の生きがいは、

老後の生活になってからみつける。

そうは言っても、
なかなか見つからないうちに、

年老いてしまうのが現実のようです。

ここは、思い切って、

また頭の回路も鮮明な、
現役中に、
素案だけでも決めておいてもよいでしょう！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関するトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
